

タイ国にアルミニウム板圧延工場を建設 Aluminum Rolling Sheet Factory Construction in Thailand

当社は、タイ国の東部にあるラヨン県アマタシティ工業団地内に、アルミニウム板圧延工場を建設することを決定しました。当社の100%子会社であるFurukawa-Sky Aluminum (Thailand) Co., Ltd. を母体とすることとし、ラヨン県アマタシティ工業団地において事業用地についての売買契約を締結、約35万平方メートルの土地を購入し、鋭意計画を進めています。

飲料缶、自動車熱交換器、電気部品など、東南アジア市場で成長が期待されるアルミニウム板材の製造・販売を目的とするもので、当社の国内工場から素条を供給して、日光工場の上工程休止後に遊休となる冷間圧延機を活用し、冷間圧延以降の製造を行うことからはじめます(第一期)。その後、鋳造工程からの一貫生産にすみやかに移行し、さらに生産能力を拡大する計画です(第二期)。

第一期の生産能力は年約6万トン、工場建設費は約130億円を予定しており、2014年1月頃の営業運転開始を目指します。

当社は、「2012中期経営計画」において“成長する海外市場への的確な対応”を重点方針として掲げています。米国アルミニウム板圧延製造販売会社(Tri-Arrows Aluminum Inc.)の株式取得による北米での缶材の製造拠点獲得に続き、このたびの東南アジアでの製造拠点拡充により、成長、拡大が著しいアジア市場の需要を獲得することで、既存の欧州・中国の製造拠点とあわせて、グローバル市場におけるアルミニウム板圧延事業をさらに強化し、今後も、さまざまなお客様のご要求にお応えしていきます。

なお、Furukawa-Sky Aluminum (Thailand) Co., Ltd. は、昨年発生した大規模な洪水により大きな被害を受けましたが、アルミニウム板圧延工場に機械設備を移設し、コイルセンター事業を継続することをあわせて決定しました。

ラヨン県アマタシティは洪水のリスクがなく、また、コイルセンター事業をアルミニウム板圧延工場施設内へ移設することにより、物流コストの低減・リードタイムの短縮などによる最適な生産体制とサプライチェーンの確立ができ、お客様へのより一層のサービス向上が可能となります。関係省庁の許認可ほか必要な手続きが終了次第、2014年初めに生産再開することを目指していきます。

復旧までの期間は、お客様のご了解を得て、当社および当社グループ会社による代替生産により供給責任を果たしていきます。



Furukawa-Sky Aluminum (Thailand) Co., Ltd.
のアルミニウム板圧延工場の完成予想図

Rendering of aluminum rolling sheet factory in
Furukawa-Sky Aluminum (Thailand) Co., Ltd.